

街中にあふれるコンパクトカーだから 自分らしさを大切にしたい



AERO TECH JAPAN
FIT "Rando Style" **GE** 型

1 完全ボルトオン設計ながら、ボトムにボリュームを持たせた。



1 タイヤハウスの後端に厚みを持たせ、立体感を演出してリヤ回り。



1 同社のエアロに専用設計のマフラーは、特色の付いたチタン仕様。



新旧のフィットに異なる
テイストのアイテムを用意

さまざまな車種を手がけるエアロテックジャパンから、プリウスに続く人気を持つフィットのエアロを紹介したい。

まず現行のGE型フィットには、純正+αでも存在感を示す「RAN DO STYLE」を提案したい。低燃費なのはもちろん走りでの資質も持つフィットには、スポーティなテイストが良く似合う。完全ボルトオンながら、躍動感ある印象を是非に私に試してくれる。

一方、先代のGD型フィットには「ブラックエディション」を用意。太細かつアグレッシブな造形を取り入れることで、現役のコンパクトカーとしての存在感を手に入れていく。



RAYS
sebring
ITC ecort

コンパクトカーの足元にも良く似合うのが、セブリングITCエコルトだ。低価格ながらホイールとしての基本性能は高く、軽量かつデザイン性も高い。ユーロスポーツならコンがおすすめだ。

ESTIMA **50** 系
"Black Edition"

後期型への改良で、ガソリン車のリヤスポイラー形状がハイブリッドグレードと同様になった。そのため、サイド部まで取り込まない形状のルーフェュネレーターが後期以降の適合になる。



1 前期ガソリン車用は、純正スポイラーを覆うような形状になっている。



AERO TECH JAPAN
FIT "Black Edition" **GD** 型



現行型じゃなくても過剰は無用だ。先ごろ登場したばかりの、ブラックエディションなら、黒色トレンドの存在感が手に入る。